

JSPS 二国間交流事業共同研究 シンポジウム

The Study of Film Exchanges between Korea & Japan during the Colonial Period

植民地期の韓国映画と日本映画の交流について

식민지 시기 한일영화 교류 연구

日時: 2013年3月2日(土)10:20~17:30

場所: 立命館大学創思館カンファレンス・ルーム

共催: JSPS 二国間交流共同研究 The Study of Film Exchanges between Korea & Japan during the Colonial Period、立命館大学アート・リサーチセンター、立命館大学コア研究センター、立命館大学・研究の国際化推進プログラム

テーマ: 帝国日本/植民地期朝鮮の境界で 제국일본/식민지조선의 경계에서

○10:20 開会挨拶 개최인사

○10:30-12:30 ——映画館外の映画 영화관밖 영화——

上田 学 (早稲田大学演劇博物館客席次席研究員) 大韓帝国皇太子記録映画の日本における受容

대한제국 황태자 기록영화의 일본에서의 수용

富田 美香 (立命館大学准教授) 帝国日本のアマチュア映画文化 朝鮮での展開 제국일본의 아마추어 영화문화 조선에서의 전개
雨宮 幸明 (立命館大学大学院博士後期課程) プロキノと国際的労働映画運動 —WFPLとKAPFとの交流比較—

프로키노와 국제적 노동 영화 운동—WFPL와 카프와의 교류 비교—

李 孝仁 (慶熙大学副教授) KAPF 映画とプロキノの展開過程の比較研究

카프영화와 프로키노의 전개과정 비교연구

○13:40-15:10 ——映画産業、映画人 영화 산업, 영화인——

韓 相言 (漢陽大学講師) 1920年代初頭の朝鮮の映画産業と朝鮮映画の誕生 1920년대 초반 조선의 영화산업과 조선영화의 탄생

梁 仁實 (岩手大学准教授) 在日朝鮮人/在朝日本人の映画経験

재일 조선인/재조 일본인의 영화 경험

鄭 琮樺 (韓国映像資料院研究員) 比較映画史的な視点から見た植民地の朝鮮の発声映画

비교영화사적 시각으로 본 식민지 조선의 발성영화

○15:20-16:50 ——スタイルと表象 스타일과 표상——

齊藤 綾子 (明治学院大学教授) 「新派的なるもの」を辿って

「신파적인 것」을 찾아서

咸 忠範 (漢陽大学講師) 1940年代植民地朝鮮でのニュース映画:<日本ニュース>を中心に

1940년대 식민지 조선에서의 뉴스영화: <일본뉴스>를 중심으로

崔 盛旭 (明治学院大学非常勤講師) 植民地の無意識、崔寅奎の場合

식민지의 무의식, 최인규의 경우

○17:00-17:30 ディスカッション、閉会挨拶 디스커션, 폐회 인사

* 日本語・韓国語の同時通訳(呉仁済、他)つき。

お問い合わせ

立命館大学アート・リサーチセンター

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL075-466-3410 FAX075-466-3415

<http://www.arc.ritsumeikai.ac.jp/>

入場無料。

駐車場がありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮下さい。



交通手段

阪急電車

西院駅/市バス快速 202 快速 205「立命館大学前」
四条河原町/市バス 51「立命館大学前」

JR

円町駅/市バス快速 202 快速 205「立命館大学前」
京都駅/市バス 50・快速 205「立命館大学前」

京阪電車

三条駅/市バス 15・59「立命館大学前」

京福電車: 等持院駅徒歩 10分